
C-251(複写紙)への印刷する場合の注意事項につきまして

Date: 2007/03/14

ID: MW260AN001

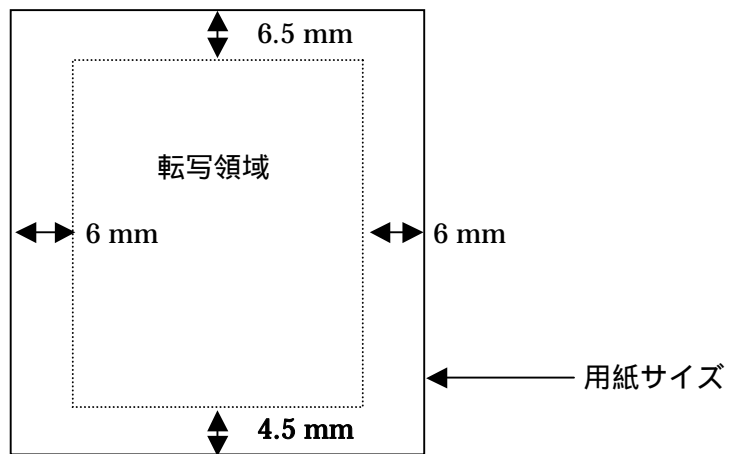
ブラザー工業株式会社

この度は、MPrint シリーズをご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
法人のお客様での帳票用途にご紹介しております C-251(複写紙)へ印刷する場合の注意事項につきまして、ご案内させていただきます。

C-251(複写紙)は他の用紙と異なり、1枚目の背面に塗布したカーボンインクを2枚目に転写させて印刷しておりますので、下記のような特殊な条件がございます。

1) 複写紙に印刷する場合の特殊な設定につきまして

- 印刷領域とは別に、通常のA6用紙と異なる転写領域があります。そのまま印刷すると、2枚目に複写されない範囲があります。よって、印刷領域のほか、転写領域に気をつけて帳票デザインを作成ください。
- 印刷領域は 97.5 mm x 140.6 mm です。転写領域は、93 mm x 137 mmです。縦方向に印刷した場合、余白は左右が各6mm、用紙上部が 6.5mm、用紙下部が 4.5 mmになります。



- 熱転写方式を使って2枚目に印刷していますので、細い線や小さな文字は2枚目にしっかり印刷されない場合がございます。文字は8ポイント以上のゴシック体、ラインは3dot 以上でお使い頂くことをお勧めします。
- 2枚目の印刷部分が若干ぼけるようになります。文字の中を白にした袋文字や、印刷精度の要求されるバーコードはお求めの印刷品質が得られない場合がございますので、2枚目に印刷したバーコードなどで運用することは避けていただくようお願いします。

2) C-251 へ印刷する場合のホスト毎の条件

ホスト	内容
Windows OS搭載PC	CD-ROM 付属のドライバで、印刷可能です。お使いのソフトウェアによりますが、一般的なソフトウェアでは、余白を調整することができます。
Pocket PC / Windows Mobile 搭載機	製品に同梱されているブラザーモバイル印刷ソフトウェアでは、PIMデータ、画像ファイルなどが印刷できますが、余白の設定はできません。C-251(複写紙)に印刷すると、転写領域をはみ出す恐れがあります。 お客様の業務用アプリケーションでC-251(複写紙)に印刷するには、MPrintSDK をダウンロードし印刷用アプリケーションを開発する必要があります。開発時に、転写領域について留意ください。
携帯電話	VCard形式のデータ(メールやメモなど)を赤外線転送した場合に、文字情報を印刷することができますが、余白の設定はできません。C-251(複写紙)に印刷すると、転写領域をはみ出す恐れがあります。 お客様の業務用アプリケーションでC-251(複写紙)に印刷するには、iアプリやSアプリ!、またはBREWを使ってアプリケーションを開発する必要があります。開発時に、転写領域について留意ください。

3) C-251 を取扱う際の注意点

- ・ ペーパーカセットのフタを折り曲げる際、強く押すと、折れ線部分で2枚目が汚れる場合があります。ご注意ください。
- ・ 2枚目への印刷は転写式です。2枚目にて文字、線がかすれる、つぶれることがあります。事前に印刷テストをしてください。
- ・ 高温環境下にて印刷すると2枚目に縦スジが入ることがあります。逆に、低温環境下にて印刷すると、印刷(長手方向)方向に対して、印刷結果が短くなります。事前に印刷テストをしてください。
- ・ 印刷直後、本機から複写紙が丸まって排出される場合があります。複写紙の1枚目と2枚目を1度剥がすと、この丸みは解消されます。どうしても気になる方は、丸まりを抑えるために別売りのペーパーガイド(PG-200)をご使用ください。このペーパーガイドは10枚までストックすることができます。